

保線管理システム

[LABOCS-MATE]

軌道技術研究部

軌道管理をデジタル化し、確実な軌道保守を実現します

鉄道総研では、様々な鉄軌道事業者様向けに適切で効率的な軌道の維持管理を行えるよう、従来から軌道保守管理データベースシステムとして実績のある「LABOCS」に、軌道の検査・管理に必要な標準的な機能をパッケージ化した保線管理システム「LABOCS-MATE」を開発・提供しています。

【特徴】

- 軌道変位や列車動揺データ等の異なるデータを一元管理し、比較分析が可能です。
- 検査データの波形や各種統計量をプルダウンメニューから算出・出力し、トレンド把握による効率的な軌道管理を実現できます。
- 国内外の各種軌道検測装置、検測車等の多様な測定データ形式に対応し読み込むことができます。
- 基本メニューを用意し、各社ごとのカスタマイズにも対応できます。

軌道変位、列車動揺、レール凹凸等の異なるデータを一元管理

軌道変位
列車動揺
レール凹凸

異常箇所を自動抽出

生波形だと異常がよくわからない
差分処理で異常箇所を自動抽出可能

次のデータデポまで位置ズレが影響し、比較が困難！
前回データ
今回データ
車輪空転で位置ズレ発生
相互相関法による位置ズレの自動補正
位置ズレが無いので、比較できる。

検測データの位置ずれを自動補正

軌道状態変化のトレンド分析・予測

軌道変位(mm)
時間
保守

構造物・防災

軌道

電気

車両

運輸

教育・訓練